

男女共同参画委員会セッション

HOW TO 男女共同参画 —委員会活動からの各種提言—

How to improve gender equality

-suggestions from the gender equality committee of AESJ-

*岩城智香子¹, *小林容子², *羽倉尚人³, *黒崎健⁴, *吉田浩子⁵, *大野富生⁶¹東芝, ²原子力規制庁, ³東京都市大学, ⁴大阪大学, ⁵東北大学, ⁶福岡工業大学

男女共同参画委員会は2003年にワーキンググループ(WG)として活動を開始し、2007年に常置委員会に昇格した。WG発足当初から本会の女性会員数の増加や、原子力・放射線分野における職場環境の改善等を目的とした様々な取組を実施している。

依然として、本会の女性会員比率は少ない(2016年3月末現在4.4%)状況にあるが、国の施策としても女性の活躍促進が挙げられており、今後も原子力・放射線分野における男女共同参画の推進に寄与すべく、取組を進めたいと考えている。

一方、これまでの本委員会企画セッションの聴講者からは「所属組織で男女共同参画を担当することになったが、実際何をどうすれば良いのか分からない」「女性会員比率を高めて、何がどう改善すると説明すれば良いか?」との声も聞かれ、本委員会の取組結果については、同じ問題意識を持つ会員と改めて共有することが有意義であると思われる。

そこで、今回の企画セッションでは、これまでの活動をベースとして、各取組についての紹介、取組を通じて得られた知見の提供及び今後の女性活躍促進に向けた提言を行うものとしたい。取組紹介や提言については実際に携わった構成委員から行うものとし、全体討論の時間も設定して、広く会員や一般聴講者との意見も求めることとしたい。

本企画セッションの構成は以下のように予定している。なお、1講演は5分程度とし、テンポの良い進行に努め、全体討論の時間を多めに確保するものとする。

また、本委員会でこれまでに作成したロールモデル集等の広報物も会場で配布する予定である。

(講演 1)原子力学会・女性比率の推移と現状

(東芝) 岩城智香子

(講演 2)女子中高生夏の学校への参画

(原子力規制庁) 小林容子

(講演 3)原子力・放射線分野の「ロールモデル集」の作成

(東京都市大) 羽倉尚人

(講演 4)男性の育児(家事や地域貢献も)参加へ向けて

(大阪大) 黒崎健

(講演 5)会員以外の活躍する女性技術者

(東北大) 吉田浩子

(講演 6)女性会員増のための学会への提言

(福岡工業大) 大野富生

全体討論

*Chikako IWAKI¹, *Yoko KOBAYASHI², *Naoto HAGURA³, *Ken KUROSAKI⁴, *Hiroko YOSHIDA⁵ and *Tomio OHNO⁶¹Toshiba Corporation, ²Nuclear Regulation Authority, ³Tokyo City University, ⁴Osaka University, ⁵Tohoku University,⁶Fukuoka Institute of Technology